

■ **山川登美子** 歌人。与謝野晶子と鉄幹をめぐって確執しながら、{明星}派を代表する歌人となるも、夭折した。
やまかわとみこ
沖縄県編入・1879 = 福井県遠敷郡竹原村(小浜市)で、代々若州小浜藩主酒井家に仕えてきた重臣という由緒正しい家柄の四女に生まれる。
明治14年政変1881 = 2歳： 厳格な家庭教育のなかで育ち、

初の対等条約1888 = **9歳**：
帝国憲法発布1889 = 10歳：

雲城高等小学校在学中、成績抜群で、習字・和歌・絵にも才能を発揮、

日清戦争始・1894 = 15歳：卒業。この頃より良家の子女のたしなみとして生花・琴・習字・和歌などを習う。
日清戦争終・1895 = 16歳：大阪のミッションスクール梅花女学校に入学し、長姉宅より通学する。
_在学中から和歌に親しみ才能を示す。
八幡製鉄始・1897 = **18歳**：_梅花女学校邦語科卒業。帰郷後、雑誌{新声}に短歌一首を初めて投稿し、入選。

ビ・アノ国産化・1900 = 21歳：_再び大阪に出て、母校梅花女学校の研究生となり、英語を専修。創刊された{明星}第2号に短歌一首が掲載され、以後、与謝野鉄幹の東京新詩社の社友となり短歌を発表し続ける。鉄幹・鳳晶子らと初対面、浜寺・住の江に遊ぶ。以後、3人は歌の道のみでなく様々の面で深くかかわりあうことになった。再び、3人で栗田に遊んだ際、駐七郎と結婚する事を打ち明ける。その後、帰郷。
田中正造直訴1901 = 22歳：上京して山川駐七郎と結婚。晶子が処女歌集「みだれ髪」を発表。
教科書疑獄・1902 = 23歳：_夫が結核で病死し、
日比谷公園・1903 = 24歳：_生家に復籍。
日露戦争始・1904 = 25歳：日本女子大学に入学し、増田(茅野)雅子と親しくなる。
日露戦争終・1905 = 26歳：*晶子・雅子との合著詩歌集「恋衣」を発表、{明星派}を代表する3女流歌人の書として好評を博した。この頃より夫から感染した結核により徐々に病状が悪化、
満鉄発足・・1906 = **27歳**：_日本女子大学の卒業を目前にして、肺患のため郷里に帰り、
アラビ創刊・1908 = 29歳：最愛の父も死去、精神的打撃も加わり病状が悪化。
伊藤博文暗殺1909 = 30歳：生家で_没した。